

# ほのほのだよ

～園の歌を手話で歌おう～

1月の手話は「お正月」です。

『お正月』は、東くめ作詞、滝廉太郎作曲による日本の唱歌です。1900年に編纂された『幼稚園唱歌』で発表され、長く歌い継がれています。ひとつひとつの手話に意味もあるので、その意味や由来をゆっくり伝えていきたいと思います。また、歌に出て来るお正月遊びのコマ回しや羽根つきなども十分楽しみたいです。

## 1番

①もう いくつ



親指から順に折って  
数を数えるしぐさ

②ねる



ねむるしぐさ

③と



手のひらを前に向けて  
立て前方へ押し出す

④おしょうがつ



人差し指を前に向け右手を  
上、左手を下に出し振る様  
にして指先を左右へ向ける

⑤おしょうがつ

④と同じ

⑥には



左手の指先を前に出す右手  
親指を左手につけ、人差し指  
を前ポから下に回し下げる

⑦たこあげて



左上に左手の甲をまえに  
右手の人差し指でさし、  
そのまま右へ動かす

⑧こまを



親指と人差し指で丸を作り右手はそのままの形で左下にふる

⑨まわして



⑩あそびましよう



頭の横に人差し指をたて左  
右交互に前後させる

⑪はやく



つまんでいた親指と人差し指  
を開きながら左下へ動かす

⑫こいこい



両手で手まねきをする

⑬おしょうがつ

④と同じ

## 2番

⑬もういくつねると～  
～おしょうがつには

①～⑥と同じ

⑭まい



手首と指先をつけて  
球の形を作る

⑮ついて



ボールをつくしぐさ

⑯おいばね



左手は羽根をつまむしぐさ  
右手は下からつくしぐさ

⑰ついて



頭の上で羽根を  
打ち返すしぐさ

⑱あそびましよう～  
～おしょうがつ

⑨～⑫と同じ



民衆社

「手話でうたう日本の童謡・唱歌ベストアルバム」参照